



## 小久保 照枝 議員 公明党

### 問 きめ細やかな子育て支援を

### 答 環境整備や周知をしていく

問 低出生体重児の現状は。

答 (健康福祉部長) 令和2年度21人、令和3年度16人、令和4年度30人、令和5年度24人、令和7年2月末現在19人。

問 リトルベビーハンドブックの認識は。

答 1,500g未満で生まれた低出生体重児に対して、出生した病院や市町村等で配付されていると認識。

問 安心して搾乳できる環境作りのため、搾乳マークを取り入れては。

答 公共施設等の授乳室に「搾乳の利用も可能」である旨を表示していきたい。

問 学校配布のタブレットによる自撮りや盗撮などの問題事例はあるか。

答 (教育部長) 制限を掛けており、問題事例はない。

問 「※コドマモ」の認識は。

答 安全を守るための意識を高める手助けとなるアプリと認識。

問 子どもを守るため「コドマモ」アプリをインストールしては。

答 本市貸与のタブレットに対応していないため利用不可。

問 市長総括を。

答 (市長) 児童生徒が安全にデジタル環境を利用できるよう対策を講じていく。

※子どもがわいせつな画像を撮影等した際、AIが判別し、画像を削除するよう保護者に通知するアプリ。



▲搾乳マーク  
(神奈川県)



▲弥富市母子健康手帳(左)  
リトルベビーハンドブック(右)

### 問 医療費助成を細やかに

### 答 国の指針により実施していく

問 エピテーゼとはどのようなものか。

答 (健康推進課長) がん等の治療で欠損した体の一部を補う人工的な装置。

問 費用負担は。

答 数万円から数十万円。

問 エピテーゼの補助金拡充ができないか。

答 県の動向を注視。

問 帯状疱疹ワクチン接種助成の利用者数は。

答 (健康福祉部長) 令和5年度303人、令和7年2月末現在110人。

問 令和7年からの定期接種の対象者は。

答 国の示す65歳以上の5歳刻み年齢の人と60歳以

上65歳未満のヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がい有する人。

問 自己負担は。

答 生ワクチン3千円程度。不活化ワクチン7千円程度となる予定。

問 50歳から64歳の接種者も市の助成を継続できないか。

答 国の指針に従っていく。

問 市長総括を。

答 (市長) 接種対象者には個別に通知。効果と安全性、副反応など理解して、接種してほしい。

